

福島から山形に避難した母親ら

### 3サークル設立へ

福島第一原発事故に伴い、福島県から山形市に避難している母親らのサークル設立を目指した座談会が22日、同市南沼原コミュニティセンターで開かれ、写真、親しく交流する場として居住エリアごとに市内に三つのサークルをつくることを決めた。いずれも10月中旬に活動をスタートさせる計画。



NPO法人やまがた育児サークルランドの呼び掛けで、福島県から乳幼児を連れて避難している母親7人が出席。避難生活で感じている悩みを打ち明け、サークル設立に向けた思いや、どのような活動をしたいか

を話し合った。現時点では、東部、南部などの地域別に3サークルを設ける予定。

二本松市から3歳と8カ月の娘2人と避難している小山淳子さん(31)は「同じ立場の人とサークルをつくって参加したいと考えていた。悩みもあるが、山形での生活を楽してみたい」と話した。同法人が定期的に関

いている避難親子対象の「ままカフェサロン」への参加人数が急増したため、より親密な関係を築くこと

ができるサークル設立の話を持ち上がった。サロンなどを通し、他の母親にも周知する。